

# ドイツ・マンハイムの「市民大学」

茨城大学生涯学習教育研究センター教授 藤平誠二

## はじめに

この報告は、先に「茨城大学生涯学習教育研究センター報告」第2号（平成8年3月発行）で発表した「ドイツの生涯学習・その概況」と対をなすものであり、ドイツの生涯学習の具体的な実態を探る実例として、マンハイムの「市民大学」における講座目録の内容を紹介することを趣旨として報告するものである。

ドイツの生涯学習は、上記の論文で述べたように、それを担う事業体が企業や職業関連機関、労働組合、キリスト教会、大学など多様に存在するが、市民大学(Volkshochschule)はそのひとつで、一般市民にとっては生涯学習の最も身近で代表的な場となっている。

そこで、その市民大学の一例としてマンハイムの例を取り上げるのであるが、マンハイムのそれを選択する理由は、筆者が過去においてその地の市民大学と多少個人的な関わりを持ったことに加えて、この都市は様々な点でドイツの標準的な都市であると見なすことができると考えるからである。

マンハイムは、旧西ドイツでは比較的中央部に近く位置するとも言えたが、現在のドイツ国土ではかなり西南の端に位置している。昔から交通の要衝として栄えた商業都市であり、文化都市である。人口は約32万でドイツでは中都市に属する。

この報告では、ドイツの標準的な都市における標準的な市民大学で、実際にどのような内容の講座等がどの程度の量で行われているかを検証するために、その「講座目録」の記載内容を全体に渡って紹介、報告することにする。ただし、実はその講座等の内容はほとんどあらゆる領域、分野に及んでおり、その量は信じがたい程の量に達していて、全ての具体的な講座等のタイトルを掲げることはただ煩瑣になるばかりである。それゆえ、ここではカリキュラムの全体的構成といくつかの具体例を記すに止めざるを得ない。マンハイムという中程度の都市の市民大学でさえそのような実情であり、これがミュンヘンのような大都市のそれとなると電話帳と見間違ふばかりの膨大な量の分厚い冊子となるのである。わが国の実情と比較して、まずそのカバーしている分野、テーマの多様性と実施している講座等の数量に驚かざるを得ない。

本稿ではまず1984年1月－7月（第Ⅰ学期）の講座目録の概要を報告する。「既に十数年前からこうであった」という実態をまず確認するためである。次いで1995年8月－1996年1月（第Ⅱ学期）の講義目録をより詳しく報告する。近年の実情を検証するためである。同時に、この間約10年ほどの時間差があるので、その間にどのような点に変化し、どのような点に変化していないかを比較検討することができる。

なお、マンハイム市民大学の正式名称は「マンハイム・イヴニングアカデミーと市民大学(Volkshochschule)」であり、有限会社である。

## 1. 1984年第1学期の講座目録

### 1. 事業運営の概要

- ・講座目録の名称は「学習プラン (Arbeitsplan)」となっている。ほぼ文庫版の大きさを280ページである。
- ・第1学期は1月から7月までである。
- ・管理運営の人的構成は、管理運営委員会の委員長(市議員)1名、教育事務局長1名と経営事務局長1名からなる事務局で構成、それぞれに秘書事務員1名が配置される。
- ・受講手続きと受講料納入を済ますと受講カードが手渡される。
- ・受講料の割引制度がある。「中高年世代のクラブ」に属する受講生の場合は、コースごとに20DMから50DMまでは10DM、100DMまでは20DM、100DM以上は30DMの割引がなされる。
- ・途中取り止めの場合の細かい規定が定められている。
- ・通常の講座(コース)では試験が行われる。受験は任意である。80%以上の出席があれば試験結果についての証明書が与えられる。
- ・学習旅行が企画されている。1日か2日のもの、3日以上のものである。
- ・商業経営、技術、外国語のコースの場合、給与労働者組合、商工会議所、または労働局から受講料の補助を受けることができる。また、税の優遇処置もある。

### 2. 外国人のためのプログラム

目録の初め(欄外)に外国人向けプログラムが特集として紹介されている。

- 1) 「外国語としてのドイツ語・資格取得コース」があり、履修により同名の資格が取得できる。これはゲーティンステュートの中級試験合格と同等に扱われる。IからIVまでとインテンシヴに分かれ、全部で9講座(コース)設けられている。前者は夜間に週2日行われ、後者には月曜から金曜まで連日午後3時間行われるものもある。
- 2) 「ドイツ語集中コース」は外国人労働者(トルコ、ユーゴ、ギリシャ、スペイン、イタリア人)向けのもので、月曜から金曜まで、午前8時から12時まで行われる。
- 3) 外国人の成人、青少年には夜間の「集中コース」、女性には「外国人女性のための読み書きコース」「同、ドイツ語コース」また「女性サークル」があり、児童向けには「遊びと学びのグループ」がある。
- 4) 他に「夜間ギムナジウム」「夜間実科学校」「ドイツ人のための夜間・昼間基幹学校」「外国人のための夜間・午後の基幹学校」「身体障害者のための基幹学校」がある。

ドイツの学校制度は、主として、4年制の小学校の後、ギムナジウム(中等学校)と実科学校と基幹学校の三つのコースにわかれるが、上記の各コースはそれらの補習教育の役目も担っている。

### 3. カリキュラム・講座等の構成と内容

「職業教程」を初め13の大コース(他に地区別のコースがある)とそのなかいくつかの中コース(内容分け)があり、中コースのもとに複数の講座等が設けられるという構成になっている。以下に大コースは下線を付け、中コースは〔 〕で、講座等の名称は「 」で表示する

ことにする。

### 職業教程

以下の12の中コースに分かれ、それぞれに複数の講座が組まれている。

〔経営管理 商業・工業〕	〔実践経営〕
〔商業基礎知識〕	〔金融・給与支払い〕
〔収支決算〕	〔特殊技能職のための教程〕
〔速記・秘書〕	〔上級秘書〕
〔翻訳・通訳〕	〔英語商業通信〕
〔フランス語商業通信〕	〔スペイン語商業通信〕

例えば〔経営管理 商業・工業〕については、基礎課程と本課程に分けられ、それぞれⅠ期からⅣ期にかけ、各期135時間行われる。

### 数学・自然科学・技術

〔グライダー飛行・航空無線・原付ヨット〕	〔特殊技能教程〕
〔特殊技能試験受験コース〕	〔物理・化学・技術数学〕
〔数学〕	〔ロケット工学〕
〔工学製図〕	〔エネルギー工学〕
〔地質学〕	〔生物学〕
〔気象学入門〕	〔電子工学〕
〔マイクロプロセッサ〕	〔エレクトロニクス工作〕
〔初級学習者のための準備コース〕	

以上の中コースに複数の講座等が設定されている。例えば「子供のためのエレクトロニクス工作」「ビデオ技術」「鳥類学」や「植物園ハイキング」の企画などもある。

### 事務業務

〔タイプライター〕	〔速記〕
〔商業通信〕	

上記の〔速記〕はドイツ語、英語、速記タイプ、秘書学の内容を含むが、後者の速記タイプと秘書学は職業教程の講座と重複する（同じである）。〔商業通信〕はドイツ語、英語、フランス語、スペイン語で行われる。

### 経済・法律

〔国民経済〕	〔一般経済問題〕
〔経営学〕	〔経営組織〕
〔データ処理〕	〔書店経営〕
〔収支決算〕	〔賃金計算〕
〔経営決算〕	〔法律〕
〔税〕	〔社会保障〕
〔労働方法論〕	〔統計学〕

〔文書交換〕

例えば〔税〕コースには「税制と経営税学」「経営者のための税法」、特別コースとして労働者のための所得税講座などがある。既に電子データ処理や情報学の講座も行われている。

語学学校

このコースは特殊な構成になっている。

- ・〔ドイツ語〕コースには次のような講座（クラス）がある。
  - 「ドイツ人のための読み書き I, II」
  - 「よりよいドイツ語」（主として正書法についての2クラス）
  - 「発声・発話法」2クラス
  - 「レトリック I, II」
  - 「コミュニケーショントレーニング」
- ・〔英語〕は、「英語インテンシヴ I-IV」他、「再生英語」など10コースがあり、他に週末コースやサマーコース、「ケンブリッジ大学による検定試験」などがある。
- ・〔フランス語〕〔イタリア語〕〔スペイン語〕には各語約10コース、1コース4クラスが設けられている。
- ・その他に以下の各語の講座が置かれ、それぞれ段階に応じてほぼ4クラスが設けられている。

アラビア語	中国語	フィンランド語
イラン・ヘブライ語	ギリシャ語	ラテン語
オランダ語	ノルウェー語	ポーランド語
ポルトガル語	ロシア語	スウェーデン語
セルヴィ・クロアチア語	チェコ語	トルコ語
ハンガリア語		

（日本語は1984年秋から開講となっている。）

家政

- 〔裁縫〕
- 〔編み物〕
- 〔かぎ針編み〕
- 〔料理〕

この内〔料理〕コースには以下のような講座（実習）がある。

- 「料理法のABC」「トルコの料理」「低カロリー料理」「シングルのための即席料理法」
- 「ヨーロッパ5か国の食通旅行」「健康保持のための食事（入門編、上級編）」「祝祭の料理準備」「イタリア料理」「中国料理」「子供を楽しませる料理」「夏のサラダいろいろ」「クラシックなフランス料理」

その他に菓子作りの3講座実習がある。

教育学・哲学・心理学

- 〔研究技法・教育学・ラジオ講座〕
- 〔哲学〕
- 〔宗教・神学〕
- 〔心理学〕
- 〔グループダイナミックトレーニング〕

以上のようにコース分けされているが、研究技法に3講座、「夢とファンタジー」ほか心理

学系統の10講座、「コミュニケーションプレイ」ほかワーキンググループが3グループ、「業務行為（増資、起債、合併など、会社の通常行為を超える大がかりな行為）分析の2講座、女性のワーキングサークル10から構成されている。

### 政治・歴史

この大コースでは各中コースと講座名を全て揚げることにする。

〔政治理論〕・・・「労働市場政策と失業」「1984年・ヴィジョンはひとつだけか」

〔現代政治学〕・・・「語り合う政治」「パレスチナはどこにあるか」「西ドイツの政治生態学」

〔社会学〕・・・「家族・テーブルの下の脚」

〔歴史〕・・・「魔女裁判史」「西南ドイツにおける労働と技術の歴史（マンハイム技術博物館との共同で）」「封建国家から近代工業社会へ・19世紀ドイツの経済と社会」「歴史の中の少数民族」

〔地域学〕・・・「フランス革命からバーデンヴュルテンベルク州の成立まで」「大英帝国の地域学」「フランス地域学」「トルコ・変転の国」「ロシアの歴史」「ソ連における女性の地位」

### 芸術

〔文学・演劇・文化マガジン〕

〔造形美術・美術史〕

〔文化史〕

〔音楽〕

〔メディア、新聞・ラジオ〕

〔映画・テレビ〕

以上のような内容分類がなされているが、「美術博物館めぐり」や美術芸術史に関するもの6講座（企画）、文学では「近代劇のモデル」「エルゼ・ラスカーシュラーの生と作品」「文筆技術訓練」の3講座、他に、音楽、美術、古美術学が各1講座からなっている。

### 中高年クラブ

行事や実習を主とする構成になっている。

- ・「ヒンズー教について」ほか15の講演
- ・「ドイツの短編小説」ほか3つのゼミナール（共同学習）
- ・〔言語コース〕として、英語15クラス、フランス語13クラス、イタリア語1クラス
- ・体操、ヨガ、自発精神療法、女性のための音楽体操、フィットネス、水泳、各国のダンス、ボーリング、チェスなどの実習コース
- ・絵画、スケッチ7クラス
- ・〔学習旅行〕として、「ヨルダン・イスラエル旅行」ほか7件

### 余暇と創作

- ・グラフィックデザイン、室内楽、資料展示、絵画スケッチ、パントマイムなどの実習
- ・〔週末アカデミー〕と称して7講座
- ・〔ワーキングスタジオ〕として「家屋建築」「Do it yourself」ほか26の実習コース（その内、生け花や盆栽のコースもある）

## 健康管理

- ・「断食療法」「自然治癒法」ほか12のコース（内、ヨガや太極拳もある）

## ダンス・体操・フィットネス

- ・〔週末ゼミ・バレエ〕〔アフロ・ジャズダンス〕ほか16コース（内、就学児童のためのプログラムが8件）

その他、マンハイムを南地区、東南地区、東地区、北東地区、北地区の5地区に分けた地区別プログラムがあり、それぞれで講座、講演、ゼミナールなど多数が実施されているが、詳細は略す。

## II. 1995年第II学期の講座目録

### 1. 事業運営の概要

- ・講座目録の名称は「プログラム」となっている。ほぼ新書判の大きさと336ページである。1984年の目録に比較して明確で分かりやすい記載になっている。
- ・第II学期は1995年8月から1996年1月までである。
- ・管理運営の人的構成は、委員長と代表委員（市長）、市議員（男女）や大学教授等計13名からなる管理運営委員会と、教育局長と経営局長及び各事務局員（秘書）2名、計4名からなる事務局により構成されている。
- ・事業部が4カ所に分かれ、全体で52名の専従員を擁する。他に地域別（北、東、南地区）に案内所がある。
- ・講座等の実施場所（学習の場）は、中心市街に21カ所、郊外に62カ所設けられている。専用の教室以外に市の建物、学校、美術館、図書館なども使用される。
- ・受講申込みは、直接、電話、ファックス、郵便によってなされる。受講料は口座振込が可能である。
- ・受講料の割引制度、試験や受講に関する電話相談制度、勤務先の会社での割引や免税の制度がある。
- ・入学（受講契約）や退学（受講取り止め）、損害賠償などの規定がある。
- ・試験が実施され、80%以上の出席があれば成績証明が出される。

### 2. 講座等の事業内容及びその特徴

- ・講座、講演、実習、シンポジウム、グルーピング、展覧会やコンサートなど、分野に応じてあらゆる形式を採っている。
- ・「夜間コース」や「週末ゼミナール」「日曜ゼミ」など、時期、時間的にも様々に構成されている。
- ・外国人、心身障害者、幼児・子供、妊婦などを含め、あらゆる人々を対象にしており、文字通り「生涯学習」になっている。
- ・多くの講座等が、商工会議所、美術博物館、大学、国際機関の支部など、市内の関連施設との共同、協賛で行われている。

- ・講座等の開設量は1984年の場合と比較して約2倍の量になっている。

### 3. カリキュラム・講座等の構成と内容

- ・分野、領域の全体的分類の仕方は1984年の場合と比べ大幅に変更されている。
- ・「専門領域 (Fachbereich)」の名で、以下のように大別されている。
  1. 職業教育
  2. 文化・社会
  3. コミュニケーションと共生
  4. エコロジーと健康
  5. 特別プログラム
- ・専門領域のなかに大コース、そのなかに中コース、更にそのなかに複数の講座等が設けられるという構成になっている。その構成は1984年の場合と比較して一層明確になっている。
- ・一部講座等には他のコースと重複しているもの (同一のもの) もある。
- ・以下に、専門領域のなかの大コースを下線付きで、中コースを〔 〕で、具体的な講座等を「 」で示し、かつ講座等の件数を示す。講座等は中コースの内 (通常は) 1、2 を選択して示す。選択の基準は、興味あるもの、又は日本人に分かりやすいものとする。

#### \* 専門領域・職業教育

#### 経済・税制・法律

〔社員の向上教育を望みますか〕の相談室開設

〔商業基礎知識〕、2学期に渡り、週4回、各3時間、計420時間の講座。商工会議所の試験に合格していることが受講の条件。

〔商工会議所における有資格管理者〕、同様の商業工業、銀行、会計士の管理者向けの講座5コース

〔実践経営者〕、経営者、税理士、人事担当者、会計士向けの講座4コース

〔経営学〕、「経営理論」と「経営基礎理論」各2講座、簿記関係6講座、「収支決算法」2講座、「賃金計算」1講座、「コストと業績計算」2講座、「法人税調整」「マーケティング・ケーススタディ」「市場調査」「宣伝構想」「価値分析」「プロジェクト・マネジメント」「品質管理」「管理者のためのワークショップ」各1講座

〔国民経済学〕、3講座

〔特殊テーマ〕として、「失業者のための副業収入」「トップ業績へのメンタルトレーニング」ほか8講座

〔金銭の周辺〕として、「株式市場トレーニング」「投資参入」ほか2講座

〔法律〕、「労働法」「貸借法」各1講座、「相続法」2講座

その他、〔不動産業〕2講座、〔転職と求職〕4講座、〔税と税法〕6講座

#### 電子データ処理EDV

- ・このコースは、1) オリエンテーリング、2) 基礎コース、3) 上級コース、4) 教科課程の段階別に構成される。
- ・Windows、Excelその他によるデータ処理、文書作成・表計算の基礎から応用、インターネット・コミュニケーションシステム、プログラミングのコースがある。

- ・〔週末コース〕7コース(2-3日間)、〔昼間コース〕5コース(3-4日間)、〔夜間コース〕17コース(6-8日間)がある。
- ・なお、子供向けの「10-14才向けのコンピューター・コース」や、中高年向けの「シニアのためのコンピューター」もある。

#### オフィス・コミュニケーション

〔管理アシスタント〕及び〔秘書〕コースに7講座(内、「チーフが問題を起こしたら・・・職場女性のための労働法」などもある。また〔秘書クラブ〕が構成される。

〔事務実務〕、「議事録作成」「電話対応トレーニング」「ドイツ工業規格5008による手紙の書き方」の3講座

〔現代書簡スタイル〕、「効果的手紙の書き方・基礎ゼミナール」1

〔WindowsのWORDでの文書作成〕4コース

〔文書作成特別コース〕、「WIN・WORD6.0のトレーニングコース」など5コース

。

その他、〔パソコン文書作成〕1コース、〔タイプライター文書作成〕4コース、〔速記〕4コース

#### 市民大学・語学学校

- ・現代言語教育の基礎理論をもとにして、日常的言語状況を体験することを教育理念としている。
- ・コースのシステムを、段階的には1)基礎、2)中級、3)上級、4)再学習に分け、講座のタイプとしては1)インテンシヴ(2×2時間)、2)スタンダード・プラス(1×3時間)、3)スタンダード(1×2時間)に分け、これらを組み合わせて構成している。  
(1時間は実質45分)
- ・職業関連の語学講座として、個人または会社のトレーニングプログラムに応じて行うものも用意されている。
- ・国際資格認定会議ICCによる国際テスト(9つのヨーロッパ語と日本語を含む)に対応している。ケンブリッジ大学による英語テストも行っている。
- ・〔外国人通信員〕講座があり、英語(140時間)、フランス語とスペイン語(各90時間)が2学期に渡り行われる。
- ・〔語学クラブ〕(英語、フランス語、スペイン語、アラビア語)も構成されている。

#### 英語の場合

〔基礎段階〕「インテンシヴコース」週2回2時間、各30回、5コース  
「スタンダード・プラス」週1回3時間、各15回、4コース  
「スタンダードコース」週1回2時間、各15回、4コース  
各コースに7-13クラスが設けられている。

〔中級段階〕「インテンシヴコース」1クラス  
「スタンダード・プラス」3クラス  
「スタンダードコース」6クラス



〔上級段階〕、「会話実践」「読解」「文法」「ディスカッション」など13クラス、各15回  
〔国際テスト準備コース〕、2コース

〔職業のための英語〕

段階1・・・「テレフォン・トレーニング」「秘書事務のための英語」の2クラス

段階2・・・「ビジネス英語」に類するものなど9クラス、「医学英語」もある。

(最低4年間の学習経験者、又はICC資格取得者が対象)

段階3・・・「ワークショップ・ビジネス会話上達」「工業英語」ほか5クラス

(5年間以上の学習経験者、ICC資格取得者、ケンブリッジ大テスト1級取得者対象)

・フランス語は英語と同様に、量的には3分の2強、イタリア語とスペイン語も英語と同様、量的には2分の1程度行われている。

・その他、次の各語の講座が開講される。(括弧内はクラス数)

デンマーク語(2) カタラニア語(1) 近代ギリシャ語(7) オランダ語(3)

ブラジル・ポルトガル語(3) アイルランド・ゲール語(2)

スコットランド・ゲール語(1) ウェールズ語(1) ラテン語(3)

アラビア語(3) 中国語(4) フィンランド語(2) ヘブライ語(2)

インドネシア語(1) 日本語(2) クロアチア語(4) ノルウェー語(3)

ペルシャ語(3) ポーランド語(2) ルーマニア語(2) ロシア語(10)

スウェーデン語(4) チェコ語(4) トルコ語(4) ハンガリー語(3)

なお、日本語は「日本語I」「一歩進んだ日本語」で90分、15回、日本人講師によるものである。

### 数学・自然科学・技術

〔自然科学と現代技術〕、「宇宙の放浪者」と題する講演

〔テスト準備〕として、工業機械等の専門労働者試験のための準備講座

〔数学〕、「幾何の基礎」など8講座。内、実科学校生徒のアビトゥーア(大学入学資格試験)受験のための講座も含む。

・その他、〔物理〕1、〔エレクトロニクス〕2、〔天文学〕3、〔地質・鉱物〕1及び学習旅行、〔化学〕3、〔生物〕1、〔工業製図〕5、〔グライダー操縦〕4、〔自然化学ワーキングチーム〕5の講座等がある。他の分野に比較して量的には少ない。

### \* 専門領域・文化と社会

### 文化史・宗教・哲学・文学・美術・映画

〔講演・文化マガジン〕、15回

〔文化史〕、「ギリシャ神話学入門・誕生と死の神話を例として」ほか5講座。内、土曜ゼミ2、日曜ゼミ2がある(以下のコースも同じ)。また、「日本・昨日と今日・日本の日常文化入門」がある。

〔哲学〕、「哲学入門」をはじめ8講座

〔美術史〕、「美術における天使の形姿」ほか2講座

〔美術鑑賞と創作〕はマンハイム市立美術館との共催で「表現主義の絵画とグラフィック」ほか6つの催し

〔文学史〕、「ジェイムス・ジョイス、生涯と作品」ほか7講座。ほかに市立図書館との共催で5つの催し

〔映画とミュージカル〕、「『ピグマリオン』と『マイ・フェア・レディ』の比較研究」ほか2講座

〔ガラクタ市〕として、「古本ノミの市」ほか1の催し

〔女性ワークサークル〕として、12地域各地で10-15の様々なテーマの講演が行われる。

### 成人のための音楽学校

〔オーケストラ部門〕、「室内楽団」が生まれ、演奏会と研修旅行が行われる。

〔プレイ・サークル〕、ブロックフルート、ギター、ピアノ伴奏のコースがある。

〔音楽理論〕、「一般音楽理論」のほか、コンピューター音楽、ジャズ即興演奏、キーボードのコースがある。

〔歌唱専門グループ〕、歌唱法の講座1

〔その他〕、「オーストラリア原住民の楽器演奏」「コンガの太鼓ゼミナール」

〔撥弦楽器部門〕、曜日ごとの実習講座になっている。

### ダンス

・講習（ワークショップ）と段階別のコースに分けて行われる

〔クラシック部門〕、3コース

〔ステップダンス部門〕、「ブロードウェイ・タップ」ほか3講習、4コース

〔モダンダンス部門〕、3講習、2コース

〔ジャズダンス部門〕、6講習、2コース

〔ストリート・ジャム〕、4講習

〔テクノ・ダンス〕、3講習とコース

〔ベイシック・トレーニング〕、4講習とコース

〔内面への道としてのダンス〕、2講習とコース

〔社交ダンス部門〕、入門3コース、スタンダード・ダンスのコンパクトコース2、サルサ、ルンバ、ワルツなど種類別に13コース

〔諸文化圏のダンス〕、「ギリシャのダンス」「カリビアン・ダンス」など15コース

〔フラメンコ部門〕、4講習、6コース

〔オリエンタル・ダンス部門〕、女性のみを対象に、ペルシャやエジプトのダンスなど11コース

〔歴史的ダンス部門〕、「ルネッサンスのダンス」など6講演とゼミナール

### 遊びと趣味のコーナー

「鉄道の時刻表をどう読むか」「囲碁入門」ほか、ボーリング、マジック、ブリッジなど18のコーナーがある。

## メディア

「暗室における白黒」など写真関係が11講習、ビデオ関係3講習、他に「実践新聞業務」

1

## ワークスタジオ

〔工芸マーケット〕の催し、

〔グラフィックと家具補修〕講習各1

〔繊維〕関係で「絹糸絵画」7、パッチワーク3、裁縫関係8

〔人形と玩具〕、「陶器人形」など7

〔紙細工〕、「ナプキンを折る」「製本」など5

〔花栽培〕、「ドライフラワー」「調味法」「贈答品包装法」など6、内「生け花入門」の講習もある。

〔楽器製造〕、「スリット太鼓」ほか2

〔Do It Yourself〕、「女性のための木材工作」など9

その他、〔罎の制作〕2、〔ガラス、陶器の絵付け〕3、〔セラミック〕7、〔プラスチック工作〕3

## アトリエコース

〔スケッチ〕関係9コース、〔グラフィックデザイン〕6、〔絵画（水彩、油絵）〕11、

〔コミック、アニメ〕1、〔カリカチュア〕1

〔特殊な絵画〕、「アイコン」など8コース、内、「週末講習、日本の水墨画」「書道」

## 心理学

〔理論的基礎知識〕、「学習心理学」「会話と議論のトレーニング」など10講座

〔心理学的解釈法〕、「夢解釈」など2講座

〔身体体験〕、「生活適合」など10講座

〔自己発見の心理学〕、「ライフスタイル・意識的人生計画」など17講座

## 政治

〔1945年以降の世界〕と題する5つの講演

〔民主主義と独裁制の間・1918年から今日に至るドイツにおける人権〕と題する4部13講演からなる講座。これは国際アムネスティ、マンハイム大学、政治教育州センターとの共催による（他の講座等も同様）。

〔忘れられた抗争〕、「ネパールにおける民主化運動後の人権の発展」など3講演

〔格子のなかへの眼差し〕、「未決拘留」など3講演

〔外国への視野〕、「メキシコ400年の歴史」など3講座

〔基礎ゼミナール〕、「女性はすべてに違っているか」など6講座

## 郷土学

〔歴史工房〕、「マンハイム・千年帝国における一大家族」など、各地の歴史に関する講座等  
8

〔女性の人生〕、「女性とマンハイム」など6講演

〔マンハイム・知的週間〕、「今日のマンハイムにおけるユダヤ人共同地区」の講座と  
「『トルコのマンハイム』とモスレ」と題する見学

〔マルチ文化・ネッカーの街・地区の伝統と統合〕として7講演

〔街の歴史〕、「城砦都市マンハイム」5講演等

〔地方史〕、3講座

〔時代の証言・人々の話〕、市民のトークショウ5件

〔新時代は我等と共に・国際自然愛好運動の百年〕で展示会やハイキングなど9の催し

## 各国事情

〔ゼミナール〕として、チェコ、ブリュッセル、フランスなどの国、都市の歴史、文化、現代事情についての講座5

〔講演〕として、「リビア」など3講座

〔移動講演・年代的概観〕として、国内外を移動しながら都市、地域についての講演29

## \* 専門地域・コミュニケーションと共生 (Integration)

## 幼児と児童

〔子供は本が必要!〕で、作者の自作朗読など3コース

〔幼児の遊びグループ〕、5グループの集い

〔体操、運動、踊り〕、「幼児と父親母親のための体操と遊び」8回、その他催し3

〔ことば〕、「こどものための英語」など8コース

〔コンピュータと技術〕、「10-14才のためのコンピューター」「子供のための自転車修理」  
など3コース

〔秋の休み期間の子供のためのコース〕、「コンピューター世界への入門」「初心者のため  
の柔道」など13コース

〔市立図書館共催〕で、「小さな美術探偵になりたい子供のために」など4コース

〔マンハイム中央教育ガーデン共催〕で、2コース

その他、〔工作・工芸〕で紙工作も含め6、〔陶芸・彫塑〕2、〔チェス〕1、〔料理と菓子作り〕2

## 知的障害者のために

・市内の関連施設の協賛で行われる。

〔ネッカーラウ(地名)コース〕で、「ABC・読み書き」「フィットネス体操」など18コース

〔クラブ室での出会い〕で、「サーカスと音楽」など3コース

〔フォーゲルシュタンゲ(地名)コース〕で、「絵とプリント」など3コース

## 女性のための特別相談室

- ・女性情報センターにおける特別相談

## 中高年クラブ

- ・いくつかの講座は他のコースと重複した（同じ）ものになっている。  
〔講演〕として、「日本・歴史と地理」を含む講演、展示会など25件  
〔記憶訓練・頭のジョギング〕、「記憶集中訓練」など3コース  
〔リラックス法〕、「ヨガ」も含み3コース  
〔語学〕、英語14クラス、フランス語25クラス、イタリア語6クラス、スペイン語6クラス  
その他、〔看護・薬草・美容〕で5、〔電子データ処理〕1、〔ブリッジ〕1、〔工作〕  
2、〔絵画〕6、〔ダンス・運動・身体体験〕9

## 教育学・学習オリエンテーリング

- 〔両親学級〕、「私はよろこんで子供の勉強をみてやる」など6講習  
〔学習、研究の技術〕、「頭脳トレーニング」など5講習  
〔職業訓練生のための学習補助〕、2講習

## ドイツ語・コミュニケーション・レトリック

- 〔レトリックとコミュニケーション〕、「確かな発声法」など7コース  
〔レトリックと週末ゼミナール〕、「最善の会話とコミュニケーション」など7コース  
その他、〔成人のための読み書き〕で2、〔正書法〕2、〔音声学〕1

## 外国語としてのドイツ語

- 〔市民大学語学学校〕・・・専門領域・職業教育で揚げたものと同じ  
〔夜間コース〕で、初級、中級、上級クラスと「外国人のための正しいドイツ語」など4コース  
その他、〔国際クラブ〕で1、〔昼間集中コース〕で基礎と中級各1

## 外国人市民のためのコース

- 〔外国人女性と子供のためのコース〕、「育児女性の午後」「外国人学童のための遊びと学習」など13コース  
その他、〔ドイツ語集中コース〕〔外国人のための主幹学校（昼間・夜間）〕

## 主幹学校、夜間実科学校、夜間ジムナジウム

- ・それぞれの学校の補修学校の役割を果たす。

## \*専門領域・エコロジーと健康

### エコロジー

- 〔市街地におけるエコロジー〕、「自動車共有、もうひとつのマイカー」など7講座

〔市街地エコロジーの学びの道〕で、同名の講座ほか2  
〔再生資源とエネルギー〕、「家屋の光熱・太陽エネルギー」など4講座  
〔危機のエコロジー〕、「全ての人々のための世界・・・映画と対話」ほか5件  
〔持続可能文化・・・実践コース〕、「家屋と庭のための雨水利用」など9コース  
〔環境と健康〕、「エコロジー栄養学」ほか1講演  
〔マンハイム中央学習ガーデン〕で「薬膳をテーマに」など4コース  
〔鳥類学と自然保護〕、「石と鋼鉄の間の鳥たち」1  
〔エコロジーの交通手段としての自転車〕、「市民大学・中古自転車市」など6講演と催し  
〔きのこの専門知識〕、旅行者協会・自然愛好との協賛で「きのこ学ハイキング」など3企画  
その他、〔自然・文化・生活〕で2つの移動講演、〔研修旅行〕4企画

### 健康保持・病気・治療処置

- ・受講料を健康保険で支払可能になっている。  
〔医学〕、「医科大学週間」として2講演  
〔医学史〕、プロジェクト2000年の行事に連動して「大航海（大発見）時代以前のアフリカ、アジア、アメリカ」ほか2講演  
〔精神と健康〕、「精神の健康と危機」シリーズとして「暴力は女性への性的危険か」など9講演等  
〔自助グループ〕で、「リウマチとの生活」など6グループ  
〔依存症〕、「喫煙から禁煙へ」など3講座  
〔滋養〕、「生鮮素材による完全栄養の食事」など4講座  
〔救急〕、「乳児、幼児の救急」など2講座  
〔マッサージ〕、「指圧」（日本人講師）など4コース  
〔もうひとつの可能性〕と題して、「自然治癒の観点からの予防接種」など9講座

### リラックス法と身体体験

- 「リラックスの技術と軽い身体体験」（週末ゼミ）、「自発性訓練」、入門から上級段階まで6コース、「空想の旅」など5コース、「ヨガ」など9コース  
〔身体体験〕で、「運動による意識化」「禅の瞑想」など5コース、「気功」3、「太極拳」3コース、その他2  
〔妊娠・出産・育児〕、「妊娠体操と出産準備」など10コース、内、「夫婦のための出産準備」「赤ちゃんと両親グループ」などがある。

### 運動・予防・フィットネス

- 〔予防〕、「肩関節の集中訓練」などの4コース、「背骨の訓練」は5地区で行われ、「女性のための骨盤体操」など5コース  
〔心と身体のフィットネス〕、「アンチ・ストレス体操」など6コース  
〔ウェルネス〕では、他のコーナーでのダンスを紹介している。  
〔重点的全身訓練〕、「Just Do It」と称する4クラス、「タップダンス」など5コース、

「ほんとにすごい(すごく太った)女性のためのウェルネスコース」(!)など14コース  
〔重点的身体調整〕、「エアロビクス」「ストレッチング」など11クラス  
〔自己防御〕、「女性のための自己防御」など4コース  
〔武道〕、「居合道」「柔道」「合気道」など6コース  
ほかに、〔アーチェリー〕2、〔曲芸〕「サーカス」1

### 家政

〔基礎料理コース〕、「男性のための基礎料理コース」など3コース  
〔料理AからZまで〕、「職業人のための即席調理法」など12コース  
〔各国の料理〕、「中華料理」など15コース(日本料理はない)  
ほかに、〔健康スタジオ〕2、〔幼児の栄養〕1、〔栄養豊富な料理〕3

### 美容と身体の手入れ

「メーキャップ法」など6コース

### \* 専門領域・特別プログラム

### 音楽の催しとコンサート

・日曜コンサートが7件

### 展覧会・資料展示・マーケット

・17件の催し

### 学習旅行

〔年代的展望〕〔2000年の歴史〕〔劇場・美術館・博物館見学〕〔専門知識者のための見学〕  
〔自然知識とエコロジー〕〔宗教と慣習〕〔街の旅〕〔ことば・文化・出会い〕〔外国研究旅行〕のコーナーに分かれて多数の企画がある。

資料 ・ ARBEITSPLAN Januar-Juli 1984, Mannheimer Abendakademie und Volks-hochschule GmbH  
・ MANNHEIMER ABENDAKADEMIE (PROGRAMM) August 1995 bis Januar 1996, Mannheimer Abendakademie und Volkshochschule GmbH